

J-Trial冬第3弾「桃太郎電鉄」



令和6年12月13日に実施されました。KONAMI GROUP CORPORATIONからブラウザ版『桃太郎電鉄 教育版Lite〜日本って面白い!〜』の提供を受け、iPad上で楽しみました。

すごろくのように、目的地に到着する速さを競い、加えてお金を儲けるといふ経済的な要素も含んでいます。全参加者にはスタート時1億円が振り込まれており、設定された目的地に一番早く着いた人には相当な額の援助金が支払われます。

発売から30年以上も多くの



人々に愛されています。実際、今回の参加者もほとんど全員が経験者でした。

赤と青のおはじきを使ってグループ分けをした後で、スタートです。

シンプルなのに奥が深い

サイコロを振って、日本全国の駅を巡り、土地や商品、物件を買いながら資産を増やすゲームです。こう言えば、単純そうですが、「どのルートで進むのか?」「どの物件を買うか」「カードをどう使うか」など、様々な選択をしなければならないという奥深さがあります。

日本全国を旅できる

ゲームマップは日本全国であり、止まった駅付近の名物、名産品、イベント、有名な建物などまるで、その地を訪れたかのような感覚になります。八王子では、「パンカツ」・「消防自動車工場」、横浜では、「赤レンガ倉庫」「中華街」などです。社会科、特に地理の授業にはもってこいで



特殊カード

桃鉄には「カード」という特殊アイテムがあります。例えば、「特急カード」を引けば、普通はサイコロ1個が突然2個や3個、4個にもなり、列車がスピードアップします。

まとめ

ゲームを通じて、楽しみながら、地名、観光地、特産品

などの知識を身につけてくれました。これにより、日本の文化や地理に対する理解が深

まったことでしょう。



桃鉄関連写真提供: KONAMI

参加者の感想

〇チームで協力しながら桃太郎電鉄をして2年生とも楽しく交流することが出来て良かったです。日本の地理をゲームで楽しく学ぶことが出来ました。葦浦先生、楽しい授業をありがとうございました。(1年)

〇去年、地理でやったことがあるゲームでしたが、1年生を含めたメンバーでやったので楽しかったです。毎回、駅で物件を買う時に全部買うことをすごく勧めてくる人がいて、1年生がそれに従っていました。そのため、自分がその駅に行ったときには物件がほとんど買い占められていたので、結果的に負けてしまいました。また機会があればやりたいです。(2年)

〇小さい頃、家族でSwitchの桃鉄をしていました。いつものとはちがい今回のやつでは貧乏神キャラがいなかったので地名を覚えることに専念できたので

楽しかったです!ゴール地点となった登別に行ってみたくまりました。(1年)
〇桃鉄、結構久しぶりで、やり方を忘れかけていたんですが、優勝できてよかったです!増毛という名前の駅があつてめちゃめちゃ面白かったです。優勝景品のお菓子は大変美味でした!!(2年)

〇結局2位だった。自分だけ鉄オタだったので、豊橋とかが出ると、「神ひかりが停車する駅として有名だよな。」と言ってしまったりしたが、誰も反応しなくて気まずかった。小田原城などを知らることが出来

て、さすが教育版だと思った。あと、貧乏神が出てこないのもいいと思った。

(1年)

